

# 2019年5月10日(金曜日)の日本経済新聞に ベトナム・ダナン進出支援について掲載されました!

## ベトナム・ダナン進出支援

### 栃木の企業向け

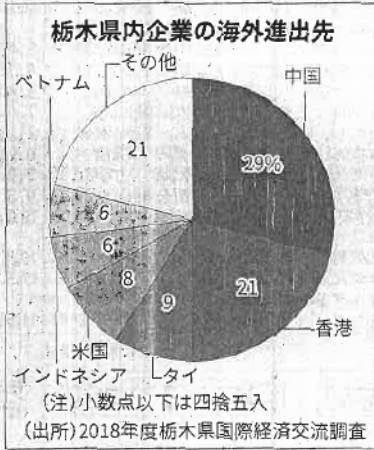
電子部品製造のアイ電子工業(栃木県大田原市)などベトナムのダナン市で事業展開する栃木県内の7社が、企業の現地進出や人材確保の支援に乗り出す。6月に法人会を立ち上げ、進出を検討する企業への情報提供に連携して取り組む。製造業やIT(情報技術)などさまざまな業種が進出している強みを生かし、県内企業の事業展開をきめ細かくサポートする。



アイ電子工業では高度人材のベトナム人を採用してきた(4月)

## 県内7社、法人会立ち上げ

任意団体「栃木ダナン法人会」を立ち上げる。会長にはダナン進出の先駆けとなったアイ電子工業の高橋温社長が就く。副会長は製パンのパン・アキモト(那須塩原市)の秋元輝彦氏と理美容のビューティーアトリエグループ(宇都宮市)の郡司成江社長が務める。このほか、ウェア制作のカテル(同)や精密部品製造のTANOI(鹿沼市)など進出済みの企業が正会員として参加する。未進出の企業は賛助会員またはオブザーバーとして募る。法人会はノウハウを紹介する勉強会や現地視察ツアーなどを



就任するアイ電子工業の高橋社長は「訪日客増に向け、観光業者にもぜひ入会して欲しい」と話す。設立から1年で50社の参加を見込む。2006年にダナンに進出したアイ電子工業はリース工場の運営に加え、現地大学と提携して人材紹介も手がける。同社を先頭に栃木県内企業の進出が続いており、情報提供などの窓口となる法人会を設立することにした。県産業労働観光部の18年度調査によると、県内企業はベトナムに22カ所の事業所等を構え、進出先を国・地域別にみると6番目に多かった。ダナンはホーチミン、首都ハノイに次ぐベトナム第三の都市。中部に位置し、ビーチリゾートと

## 住友ゴムと自動運転研究

### 群馬大、対応タイヤ関連で

群馬大学は住友ゴム工業と自動運転に関する共同研究を始めた。同社と群馬大の研究組織「次世代モビリティ社会実装研究センター(CRANT)」は、対応するタイヤ関連の施設で、群馬大の自動運転車両を活用した研究を進める。センサーを使って走行時のタイヤの空

置し、ビーチリゾートとを抱え、陸路でタイや中国と結ばれており交通の要所でもある。成田空港にも近く観光地として注目を集めている。貿易港行便も飛んでいる。

## 創設時の雰囲気体感

弘道館(水戸市)で9日、本開館の日を記念した体験講座が開かれた。弘道館は旧水戸藩第9代藩主の徳川吉昭が創設した藩校。1841年に仮開館し、施設や学則などの整備を経て1857年5月9日に本開館した。講座ではこうした弘道館の歴史を紹介しながら、普段は公開していない



受講者は「弘道館記」の素読などを体験した(9日、水戸市)

ンクなどのトラブルの発生に対応する。タイヤの異常を感じた際は、CRANTに設置された自動運転の管制所に情報を提供するなどレベル4での安全運行を目指す。今後は両者が協力し、レベル4に対応したタイヤや、デジタル技術を活用したタイヤ関連サービスが参加し新機に携わって人材育成チームに国立大学と

い孔子廟(ひも特別公開)正庁では「弘道館記」のり子主任研感をフル活用は江戸時代ので、学ぶことと説明した。講座に参加住の男性(58館から本開館などを細かく読など貴重なと話した

### 女性の就農学部

山形大学日、女性の就農林水産省プロジェクトと発表した。した女性農業プ、やまがたットワークる。公務員志学生に對し、で働く魅力

同プロジェクトが参加し新機に携わって人材育成チームに国立大学と